

第1回 FAFスクール

『近現代建築の利活用とまちづくり』

申込QRコード



福岡建築ファウンデーション (FAF) は、「建築は文化である」という理念のもと2012年に設立、様々な活動をして参りました。5周年を迎えるにあたり、その土地ならではのまちづくりが近現代建築の利活用を通して育まれることを目指し、多様な知見に触れる機会を提供するスクールを企画しました。建築の専門家はもちろん、自治体や開発事業を通して地方創生やまちづくりに関わる方に広くご参加いただき、今後の活動に役立てていただきたいと思います。

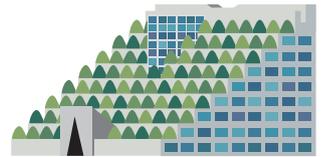
2017年10月25日 (水) 13:00-18:00 [開場・受付12:30~]

アクロス福岡 円形ホール [福岡市中央区天神1-1-1]

○参加費 一般・メール会員 5,000円 FAFサポート会員 4,000円

○定員100名 事前申込制 (9月19日より受付開始 / 定員になり次第終了)

○申込方法 Eメール info@fafnpo.jp ウェブサイト <http://fafnpo.jp>



講義：『京都における歴史的建築物を活かした都市再開発について』

楠本 正幸 Masayuki Kusumoto

N T T都市開発株式会社 代表取締役副社長 CDO

京都における新風館 (旧京都中央電話局) や旧清水小学校等、歴史的建築物に新しいプログラムを投入して生まれ変わらせる一連のプロジェクトを、ディベロッパーの立場から手掛けている。

1限【13:15-14:15】



講義：『素材は語る レンガ・鉄筋コンクリート』

今川 憲英 Norihide Imagawa

外科医的建築家・株式会社TiS & PARTNERS 代表取締役・東京電機大学 名誉教授

国内外2300件を超えるプロジェクトを担当、構造設計のスペシャリスト。建物の素材と骨格を生かしつつ、最新技術で寿命を延ばす「外科医的建築家」。国際文化会館、横浜赤煉瓦倉庫等、有名建築の再生を手掛ける。

2限【14:30-15:30】



講義：『CRE & PERに関する活用方法とファイナンスについて』

天米 一志 Kazushi Amame

官民連携アドバイザー・株式会社GPMO 取締役副社長

包括的公共施設管理や新しいPFI手法導入といった日本のこれまでにない官民連携事業の実務経験を有し、地域ごとに適した官民共同の構図をPFIの設計等を通して自治体を支援している。

3限【15:45-16:45】



講義：『世界の地方創生 — 辺境のスタートアップたち』

松永安光 Yasumitsu Matsunaga

株式会社近代建築研究所 代表取締役・一般社団法人HEAD研究会 理事長

建築家・アーバンデザイナーとしての活動の傍ら、鹿児島大学で10年間教育と研究活動を続け『まちづくりの新潮流』などを著作。最近では大型木造公共建築に挑戦する一方、共編書『世界の地方創生— 辺境のスタートアップたち』を発表し反響を呼んでいる。

4限【17:00-18:00】

本講習会は、CPD制度の共通認定プログラムです。(4単位)

○後援：福岡県、福岡市、(一社)日本建築学会九州支部、福岡地域戦略推進協議会

○協賛：株式会社 総合資格、株式会社 竹中工務店 (2017年9月6日時点)

○主催 / お問い合わせ先：NPO法人福岡建築ファウンデーション E-mail:info@fafnpo.jp TEL:092-732-3191 FAX:092-711-9551



詳細は FAFウェブサイト(fafnpo.jp)まで

夜は福岡建築文化祭2017へ!